



2023年9月20日発行

拝啓

夏休みが終わり、後期が始まりましたね。皆さまは充実した夏休みを過ごせたでしょうか。

暦の上ではもう秋になりました。食欲の秋、芸術の秋、そしてもちろん、読書の秋。さまざまな「秋」の始まりです。

新たな学期に、新たな本との出会いがありましたら幸いです。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2023年10月～11月カレンダー

LiLian Special Info.

ビブリオバトル???

今月の一冊

『マカン・マラン』

LiLian Interview

石津和子先生（人間科学部 多元心理学科）



2023年10月・11月 カレンダー

10月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 ◎	3 ◎	4 ◎	5 ◎	6 ◎	7 ○
8 休館	9 休館	10 ◎	11 ◎	12 ◎	13 ◎	14 ○
15 休館	16 ◎	17 ◎	18 ◎	19 ○	20 ○	21 ○
22 休館	23 ◎	24 ◎	25 ◎	26 ◎	27 ◎	28 ○
29 休館	30 ◎	31 ◎				

11月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
			1 ◎	2 ◎	3 休館	4 ○
5 休館	6 ◎	7 ◎	8 ◎	9 ◎	10 ◎	11 ○
12 休館	13 ◎	14 ◎	15 ◎	16 ◎	17 ◎	18 ○
19 休館	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 ◎	24 ◎	25 ○
26 休館	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ◎		

最新情報はHPを
ご確認ください →



LiLian Special Info.

ビブリオバトル???

皆さんはビブリオバトルって聞いたことがありますか？

ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーにした、誰でもできる本の紹介コミュニケーションゲームです。全国の学校、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェなどで、広く活用されています！

ビブリオバトルには4つの公式ルールがあります。

☆用意するのは本とタイマーだけ！☆

- 1 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 順番に1人5分間で本を紹介する。
- 3 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
- 4 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い最多票を集めた本をチャンプ本とする。



たったこれだけのルールで遊べば本を読むのが楽しくなって
いろんな本に巡り会い、どんどん世界が広がります。

金城学院大学が加盟している「大学コンソーシアムせと」でも
11月にビブリオバトルの開催を予定しています。

興味を持った人はぜひビブリオバトルを見に行ってみませんか。

知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト

→ <https://www.bibliobattle.jp/>

(ももか)

*** 今月の一冊 ***

『マカン・マラン』 古内一絵／著

913.6
F92
2(1)

閲覧室2F(読書コーナー)

「マカン・マラン」とはインドネシア語で「夜食」という意味です。
ドラッグクイーンのシャールが営むお店には、いろいろな悩みを
抱えたお客さんがやってきます。そんなお客さんに振る舞うシャール
のごはんは、どれもおいしくて健康的です。
そしてシャールには秘密があって・・・。
夏の疲れが残ってごはんを食べるのがつらいなあと思うとき、この本
を読んだらちょっぴり食欲がわいてくるかもしれません。

(しおり)





LiLian Interview

大すきな先生に
インタビューに
行こう 56

人間科学部 多元心理学科

石津和子 先生



1. 趣味はなんですか？

最近はコロナの影響や育児などであまり行けていないのですが、美術館の企画展を見に行ったり、クラシックのコンサートを聴きに行くのが好きです。

それと、映画祭に行くのも好きです。昔はシンガポール映画祭へ行くことができました。監督に直接質問をしたり、シンガポール料理が食べられたりと面白いイベントでした。中でも生活の実態を見ることが、映画を見ることよりも面白いと感じます。

2. お休みの日は何をしていますか？

いま現在は子どもを連れてどこかへ遊びに行くというのに尽きるかなと思います。最近子どもにも体力がついてきて、お昼寝などもせず、お休みの日に限って早起きしたりするので大変です。

子どもが夜寝た後は録画した海外ドラマをよく見ています。スウェーデン、アメリカ、イギリスなど、海外といってもさまざまですね。ジャンルは主に夫の趣味で、ミステリーをよく見ています。最近だと「FBI シリーズ」などですね。

3. 最近あった嬉しかったことはなんですか？

家族のことで色々嬉しかったことがありました。

まずは福岡にいる父に孫の顔を見せることができたことです。コロナの制限が緩和されて、パーテーション越しとはいえ、子どもの成長を見せられてよかったと思いました。

そして、最近是我が子の夜中のおむつがとれて安心しましたし、成長を感じることができて嬉しかったです。絵を描いてくれたり、できることがだんだんと増えていき、日々成長を見せてくれることは親としてとても嬉しいことです。

4. 先生の研究分野はなんですか？

専門は心理学なのですが、特に働くことのストレスについて研究しています。最近では IT など通信機器を使ってコミュニケーションをとることに関連するストレスや人に与える影響などを研究しています。

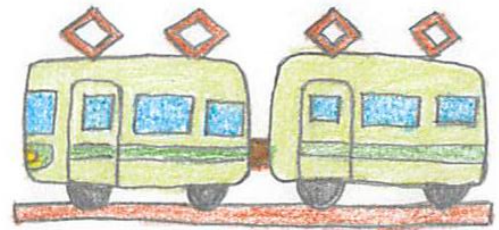
私が学生だったときは数人に一台くらいの普及率だったパソコンなどの IT 機器が、今や 1 人に一台になるまで普及し形も変わってきて、人々が IT 機器を使いすぎることで生じるストレスがあると思います。しばらく研究はお休みしていましたが、最近になってそれを研究してみれば面白いのではないかと感じるようになりました。

ストレスそのものというより、「働くこと」を扱いたい、自立して楽しく働いて欲しいということがゴールにあるので、そういうキャリア発達を支援する研究をしています。

5. 学生時代の思い出はなんですか？

学生寮での生活が思い出に残っています。

福岡の実家から東京に上京して、
大学は学部 4 年間、大学院は 6 年の間、
寮で生活しました。寮では 1 人部屋の
期間もありましたが、中国人の学生と
同室になることもありました。



別の部屋にはイタリアやフランス、韓国、台湾の学生がいて、外国の人と同じ空間で生活する中で文化の違いに触れることができて面白かったです。

また、大学院のときには議論に夢中になって終電を逃したり、寮の部屋で議論をしながら寝落ちしたりすることもありました。

青春 18 切符を買って、東京から福岡まで 24 時間くらいかけて帰ったのも楽しかったです。

6. 大学で働くことになったきっかけを教えてください

博士課程のときに非常勤の仕事を並行して始めました。学生相談室のカウンセラーとクリニックのカウンセラー、大学の非常勤講師をしていました。この大学の非常勤講師をしていたときに若い方々と話すのが楽しかったため、大学で働くことを決めました。

7. 先生の好きな本を教えてください

村上春樹の作品が好きです。お茶の水ホテルで執筆している噂を聞き付け、お茶の水付近を散策したこともあります。村上春樹の作品の中でも『ノルウェイの森』の主人公が聞いた音楽や読んだ作家、通った道などを芋づる式に辿りました。主人公や登場人物の考え方が面白かったので影響されたり、反発したりしました。また、『1Q84』をコロナ禍に出勤できない時期に読みました。作品内に潜伏生活で体力を落とさないようにするシーンがあり、現実の状況とも重なって、お気に入りの作品になりました。

子どもの頃はローラ・インガルス・ワイルダーの『大きな森の小さな家』、P・L・トラヴァースの『メアリー・ポピンズ』、L・M・モンゴメリの『赤毛のアン』が好きでした。

大人になってからは『失敗の本質』など経営に関する本も好きです。

8. 金城生へ一言お願いします

金城生の皆さんは素晴らしい方々です。アドバイザー面接などのメールもしっかりと返信してくださり、時間などもしっかり守ってくださるのでとても助かります。授業に来てくださったゲストスピーカーの方への感想文もデフォルトでたくさん書いてくれます。これには共同研究者のゲストスピーカーの方も、私も教師冥利に尽きると思っています。授業時間を有効に活用して、考えを深めてくださるのが素晴らしいです。

時間的な融通が利くのは大学生時代までだと思うので、寝食を忘れて打ち込めるようなことを、周りの友達を大事にしながら思う存分エンジョイしてほしいです。

インタビューを終えて

心理学の先生とお話するのははじめてでした。他分野のことについて知ること出来て良かったです。また、育児と仕事を両立させていらっしゃる先生のことをすごいと思いました。

(あお)

前期の授業で「ポジティブ心理学」を受講していて、心理学にとっても興味があったため石津先生にインタビューさせていただきました。石津先生はとても優しく、会話の一つ一つを丁寧に受け答えしてくださいました。また言葉のすべてに知性があり、私も先生のような聡明な女性になりたいと思いました。特に先生の学生時代が興味深く、一体どんなことを議論していたのかが気になります。

ぜひこのインタビューを読んでもくださった皆様も、これをきっかけに石津先生にお尋ねください！

(石川)

*** 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） ***

『ノルウェイの森』 請求記号:913.6/Mu437/6(1)-(2)

『IQ84』 請求記号:913.6/Mu437/12(1)-(3)

『大きな森の小さな家』 請求記号:933/W735/3/E

『風にのってきたメアリー・ポピンズ』 請求記号:933/Tr2/c/E

『赤毛のアン』 請求記号:933.7/Mo38/6

『失敗の本質』 請求記号:391/To13//A6

